

## 会 議 録

会議名	相模原市米軍基地返還促進等市民協議会 令和6年度理事会	
事務局	基地対策課 電話042-769-8207 (直通)	
開催日時	令和6年8月2日(金) 午後2時00分～午後2時50分	
開催場所	相模原市役所本庁舎 本館2階 第1特別会議室	
出席者	役員	24人
	事務局	6人(市長公室長、基地対策担当部長、他4人)
会議次第	1 開 会 2 議 題 (1) 本年度の要請について (2) 視察・調査等について 3 閉 会	

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言、●は事務局の発言、◎は会長の発言)

### 1 開会

本村会長あいさつ

### 2 議題

#### (1) 本年度の要請について

事務局からの説明の後、役員からの意見を踏まえ、資料の一部修正を行うことで承認された。

質問・意見の概要は次のとおり。

○ 要請書案の中で「基地に起因して騒音、水質汚濁、土壌汚染、大気汚染等の環境問題が発生した場合は、米軍の責任において適正に処理するとともに、講じた措置については、速やかに地元自治体に情報提供すること。」と記載されているが、これは、PFASについても言及しているという理解でよいか。

● お見込みのとおり。

○ 昨年12月に沖縄で発生した性暴力事件が沖縄県に情報提供されていなかった件について、要請書案に新たに書き加えていただいている。この件について6月に報道された後、同様の事例が神奈川県内も含め全国的に生じていたことが明らかになった。要請書案には「米軍人等による事件・事故が発生した場

合は、地元自治体に対し、迅速に情報提供するとともに、その後の経過等についても報告すること。」と記載されているが、この件に対する抗議や再発防止又は原因究明等を求める内容を加えていただきたい。

- このような事件はあってはならないものであり、関係市と連携して対応していく必要があると考えている。要請書案をどのように修正できるか検討する。
- 要請の結果がどのように反映されているのかが見えてこない。要請書の内容が多岐に渡っているため、要請の相手方からの具体的な回答を得ることが難しいと感じる。もう少しテーマを絞り、年度ごとに要望書の内容を変えて要請を行うのが効果的であると考えている。また、空母艦載機の騒音も減少しており、要請内容の検討にあたっては実態を把握する必要があると考えている。来年度の要請書案を作成する際に検討していただきたい。
- 要請書の作成に際しては、市民の皆様の要望や思いを取り込めるよう努めている。要請先に要請内容をしっかりと伝えるため、要請書を提出するだけでなく、これまでどおり相手方との対話を継続し、その状況が市民の皆様にも伝わるよう、情報提供等を行ってきたいと考えている。
- P F A Sに関しては、地元住民は情報提供を受けていない。各地域におけるP F A Sの状況について情報提供をいただきたい。
- 現在のところ、P F A Sの流出が基地に起因していることは確認されていないが、市としてはP F A Sの状況を注視しており、引き続き市民の皆様にも不安を与えないような対応を行っていききたいと考えている。P F A Sに関する情報が得られるよう努めていく。
- ◎ P F A Sに関しては、先月、環境大臣に対して市として単独要望を行い、国としての基準を明確にすることや調査研究をしっかりと行うこと求めてきた。市内でも道保川の関係で市民の皆様にご心配いただき、議会でも質問いただいております。市民の皆様にも安心していただけるような環境づくりができるよう準備していききたいと考えている。

## (2) 視察・調査等について

事務局からの説明の後、原案のとおり承認された。  
質問・意見の概要は次のとおり。

- 視察を行う際には、参加者が現地で得た知見をレポートにまとめる必要があると考える。
- ご意見を踏まえ、対応について検討させていただく。

## 3 閉会

竹田副会長あいさつ

以 上